

た よ り



〒518-0814 伊賀市上友生785番地

TEL&FAX; 0595 (21) 8839

URL: <http://www.iga.ed.jp/igaken>E-mail: iga-ken@iga.ed.jp

3月に入り、令和4年度の授業日も残すところ3週間となりました。

14日(火)には中学校、18日(金)には小学校で卒業式が行われます。また、23日(木)には幼稚園で卒園式が行われます。残された日はわずかになりましたが、卒業生や卒園生にとって心に残る「最後の授業」になることを願っています。

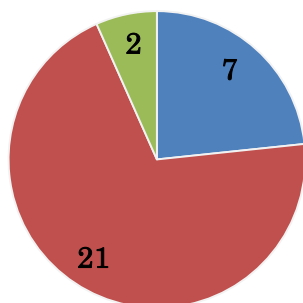
今年度も、コロナ禍の中、感染拡大防止に気を配りながら、教育活動や行事を再構築し、最大限の教育効果をあげるための日々であったと思います。この一年間の取組の成果と課題について各学校・園において検証されたことだと思いますが、学校運営協議会等でいただいた意見も参考にしながら、改善点を具体化し、学校・園マニフェストに位置付け、次年度へつなげていきたいものです。このことは、私たち教育研究センターの活動についても同じことが言えると考えています。

本年度の研修講座を振り返って♪

本年度の研修講座について、「研修講座の実績報告」から引用し、振り返ります。

1 実施回数について

年間30講座を予定していましたが、すべての講座を実施することができました。



- ・ 小学校外国語科・外国語活動(1・2)
- ・ 授業づくり
- ・ 俳句研修
- ・ 特別の教科 道徳
- ・ 国語
- ・ 算数・数学

- A 教科・領域指導研修
- B 教科課題別研修
- C 専門研修

- ・ 初任者研修
- ・ 学校マネジメントのための今日的課題

- ・ 授業改善に向けた校内研修
- ・ 人権・同和教育(3回連続講座)
- ・ 特別支援教育(4回連続講座)
- ・ 特別支援教育
- ・ 生徒指導(1~4)
- ・ 情報教育
- ・ 1人1台端末活用法
- ・ 教員ICT活用指導力向上講習会
- ・ 外国人児童生徒教育(1・2)
- ・ 食物アレルギーに関する研修
- ・ 郷土教育
- ・ 教育研究集会

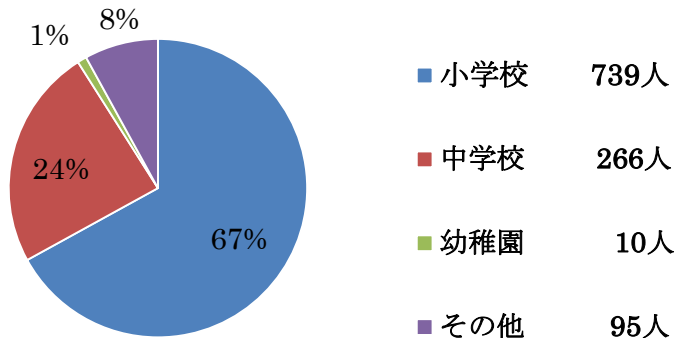
教職員の皆さんの学びの場を保障するということを大前提とし、実施方法を工夫しながら取り組んできました。その結果、30講座すべてを実施することができました。生徒指導①については、遠方の講師ということもあり、当初からリモートでの実施を計画していましたが、滞りなく実施することができました。リモートであれば遠方の講師も依頼できるので、今後はこのような方法も含めて企画していきたいと考えています。

教育研究集会については、3年ぶりに伊賀市文化会館で実施することができました。その時期にコロナ感染者が増えていたこともあり、集合を基本としながら学校や園でリモートによる研修を受けられるように配慮を行いました。このようなハイブリッド型研修を今後も状況に応じて取り入れていきます。

伊賀市では、初任者が増えていることから、初任者研修の内容・回数等について再検討する必要性を感じています。複数回研修講座を開催し、継続した指導・支援につなげるとともに、伊賀市に着任した初任者同士のつながりも大事にしたいと考えています。

2 受講者数について

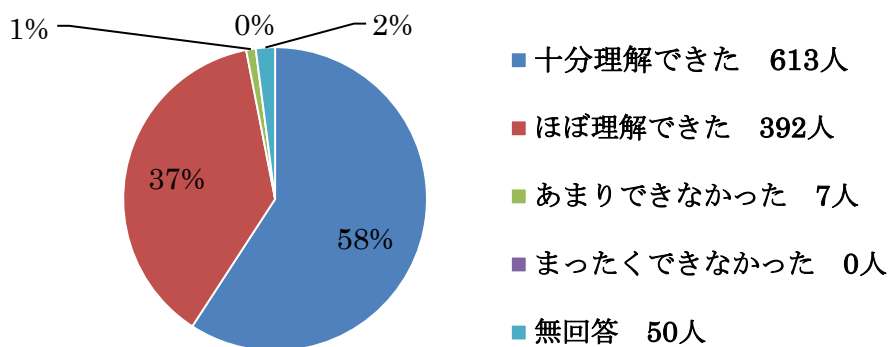
全受講者数（教育研究集会を除く）は、のべ1,110人で、昨年度の984人（のべ人数）と比べると、約1.1倍に増えました。



全講座を実施できたことにより、多くの方に受講いただくことができました。伊賀市以外の方の参加者数（「その他」に計上）も増えています。

3 受講内容の理解について(アンケート回答数：1,062)

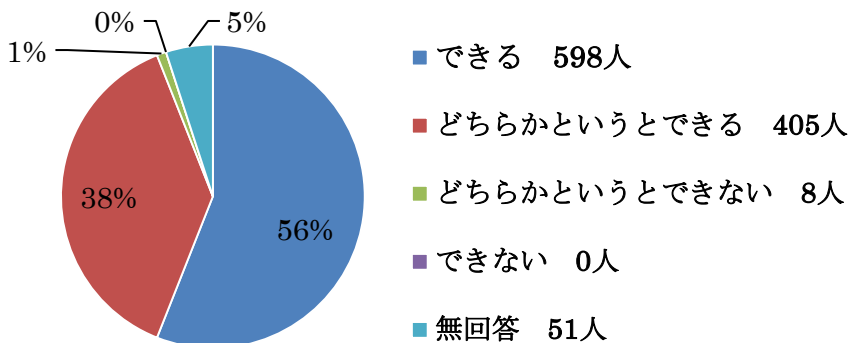
受講内容が「十分理解できた」、「ほぼ理解できた」をあわせると約95%となり、多くの受講者に理解いただけたと考えています。



受講内容が「理解できた」と肯定的に回答された方が非常に多く、学ばれたことを具体的実践につなげていけることを期待しています。また、「あまりできなかった」と回答した方の記述を集約し次年度にいかします。

4 実践での活用について(アンケート回答数：1,062)

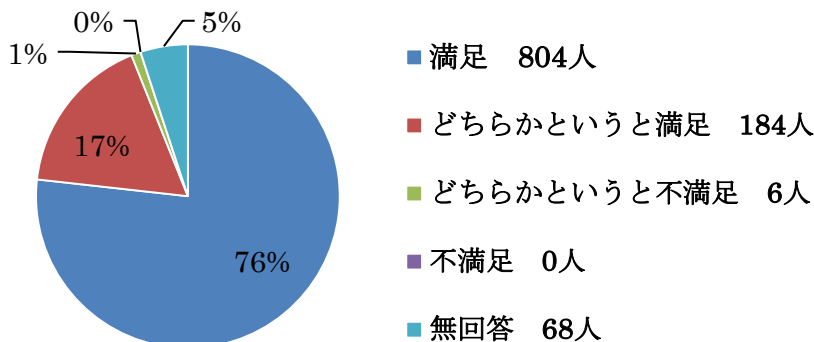
研修内容が実践で活用「できる(約56%)」、「どちらかというところできる(約38%)」をあわせると約94%となり、多くの受講者が活用について肯定的に回答しています。



学んだことを実践にいかせられるかどうかで研修の質が決まると考えています。講座で学んだことをどう活用できているか、聞き取り等する中で把握に努めます。

5 受講者の満足度について(アンケート回答数：1,062)

受講後のアンケートの結果、満足度は、「満足(約76%)」、「どちらかというところ満足(約17%)」をあわせると約93%となり、多くの受講者に好評でした。



「満足」「どちらかというところ満足」が約93%であったことは一定の評価をいただいたと考えています。「どちらかというところ不満足」という意見を大事にしながら次年度の内容をより充実していきます。

受講者のアンケートを集約しながら今年度の振り返りをしました。ここに示したグラフや数字も一つの指標ですが、それぞれ記入いただいたアンケートの自由記述を大事にしながら、次年度の研修講座を構築していきたいと考えています。

一年間、ありがとうございました。

雑感：桃青の丘幼稚園のHPを見ていると、次のような掲載があり、興味深く拝見しました。「2日に分けて、わいわいフェスティバルのリハーサルを行いました。…年少は、表現あそび、年中はオペレッタ、年長は劇にそれぞれクラス毎に取り組み、歌と合奏は学年全体で発表しました。他のクラスの友だちが見ていると言うだけでも、子どもたちは緊張気味で、いつも通りの声が出にくい子もいましたが、笑顔で楽しそうに伸び伸びと歌ったり、踊ったり、表現したりしている子がほとんどでした。見ている子どもたちも、一生懸命食い入るように見つめ、それぞれの素晴らしいところを感じ、発表しました。1学期から取り組んできた様々な活動の集大成として、小道具や大道具、衣装の飾りつけ、準備やかたづけ等、自分たちでできる事はできるだけ自分たちで取り組んできました。学年が進むにつれて、飾り付けを考えたり、台詞や動き、ダンスなどを友だちと相談して決めたりできるようになってきました。」(2月3日)・・・この記述を読んで、園児の皆さんの成長がよく伝わってきました。伊賀市では、保幼小接続プログラムを作成し、小学校へ入学してくる子どもたちが途切れることなく学びができるように取組を進めていますが、就学前に培った力を後退させることのないように取り組んでいかなばと強く思いました。